SH1630/SH1630TF/SH1610F のマルチキャストフィルタ機能について（取扱説明書<補足>）

SH1630/SH1630TF/SH1610F では、マルチキャストフレーム転送性能を向上させるために最新ファームウェアにてマルチキャストフィルタリング機能が追加されています．
これに伴い、従来ファームに比べ（V01.11 以前）コマンドが１つ追加になりました．さらに本機能を使用する際に注意事項がございますので、以下の内容を充分にご確認のうえ使用してください．

1．適用ファーム版数

V01.14 以降（SH1630 , SH1630TF , SH1610F）

2．機能概要

マルチキャストフィルタ機能を Disable にした場合、マルチキャストフレームを常に自局宛てと認識して処理を行います（従来ファームと同等の動作）．この場合、ある限度（100Mbps で 10%程度が目安）を越えるマルチキャストフレーム負荷が本装置に印加されると、他ポートへの中継フレームにロスが生じることがあります．
　この対策として、「3．操作方法」に記したマルチキャストフィルタコマンドを Enable にすることにより、マルチキャストフレームを自局宛てと認識せず中継し、装置が高いマルチキャストフレーム負荷で受信しても、他ポートへの中継時にロスが生じなくなります．
ただし、本機能を Enable にした場合、以下のような制限事項があります．

＜制限事項 1＞ MAC アドレス学習テーブルのコンソール表示に対する影響

ブロードキャストおよび自局宛ユニキャスト受信フレームの Source MAC Address のみがテーブル上に表示され、それ以外のフレームの Source MAC Address は表示されなくなります(フレームの中継には影響ありません)．

＜制限事項 2＞ MIB に対する影響

以下の装置内部の学習状況を示す MIB 項目について、正確に反映できなくなります．

fjiSwitchG1 の fjiSwitchDb の中の **fjiSwitchRunDbTable**

3．操作方法

本機能追加に伴い、コマンドメニューに以下の項目が追加されています．

メインメニュー　2) Configuration の下の
サブメニュー　2) Ethernet Switch Configuration の下に
新項目　3) Multicast Filter　Disable(Enable) を追加

※1 デフォルト設定は Disable （従来通りの動作）
※2 文字'E'または'D'をキーインすることによって設定変更
※3 変更した設定を有効にするには装置リセットが必要

4．適用環境

ネットワーク上に大量のマルチキャストフレームが定常的に流れる可能性のあるシステム（例えば、画像配信システムのようなリアルタイム系のアプリケーション）内で本装置を使用する場合、この機能を Enable にすることをお奨めします．